interhemispheric trans lamina terminalis approach and bilateral subfrontal approach にて肉眼的に全摘出術を施行した．術後に，尿崩症，軽度の副腎機能不全，低体温，高 Na 血症などの合併症を認めたが3例とも元気に独歩退院した．現在，外来にて経過観察中である．

45）頭蓋咽頭腫に対する放射線療法の有効性について

片倉 隆一・北原 正和・鈴木 二郎（東北大学脳研 脳神経外科）

従来，頭蓋咽頭腫に対する治療法は手術療法が主体であった．しかし，たとえ全摘出を行った症例でも再発を認めることは稀ならずあり，最近では放射線療法が行なわれ，その効果も認められつつある．今回は当科で経験した頭蓋咽頭腫の治療成績を分析し，放射線療法の有効性について検討したので報告する．

対象は，当科で頭蓋咽頭腫に対する手術手技（bifrontal interhemispheric approach）が定着した以降の症例69例である．このうち，放射線療法を行った症例は，初回治療として6例（6回），再発時行った症例は4例（延べ5回）である．これら10例，11回の放射線療法の治療効果であるが，まず術後腫瘍陰影がはっきりせず効果判定不能3例を除く7例（8回）の CT 上の有効率は，全例で50%以上の縮小効果が認められた．また，最短1年，最長8年にわたる追跡調査では，死亡例はなかった．しかし，照射後短期間に再発した例が1例見られている．

ここでは，以上の結果を参考に，放射線療法も含めた頭蓋咽頭腫に対する治療法について考察を加え報告する．

46）巨大眼窩腫瘍の 1 手術例

田中 輝彦・安藤 彰・中村 公明（青森県立中央病院 脳神経外科）

症例は59才男子，5年前から左眼瞼下垂が出現，徐々に増強し，1年前から左眼球突出が著明になって来た．入院時，眼球突出度は右 12mm，左 27mm，視力は右 0.6，左 0.03，眼球運動そのものは良好であった．CT で頭蓋内に異常はなく，左眼窩内に 50×30×30 mm の造影剤でほぼ均等に増強される腫瘍を認めた．周囲の骨破壊像はなく，鼻咽腔も正常であった． 左 CAG で涙腺動脈の肥厚と，眼球後方に不規則な腫瘍染色を認めた．以上により左涙腺腫瘍と診断し，S 61.3.28，左前頭開頭を行った．硬膜外経由で眼窩上壁を除去し，黄褐色，弾性硬，薄い被膜があり境界鮮明，血管に富む実質性腫瘍約20 g をレーザーを併用して全摘出した．組織学的検査では pleomorphic adenoma で悪性像はなかった．術後経過は良好で，眼球突出は軽快し，左視力0.06と改善傾向を示した．

47）眼窩内腫瘍の検討（腫瘍局在と臨床症状および手術到達法について）

田辺 純嘉・端 和夫（札幌医科大学 脳神経外科）
相馬 勤（市立札幌病院 脳神経外科）
竹田 真（札幌医科大学 眼科）

脳神経外科領域において経験する眼窩内腫瘍は比較的稀であり，腫瘍の性状・局在部位・進展方向により，臨床症状および治療方針に差異がみられる．我々は昭和56年9月より昭和61年12月までに経験した眼窩内腫瘍およびその他占拠性病変の計27例について臨床症状・治療法の要点について検討したので報告する．

症例は男性15例，女性12例で，年令は 1～71歳（平均 37.6歳）までであった．腫瘍の性状では cancer および sarcoma 7 例，mucocele 4 例，pseudotumor 3 例，neurinoma 3 例，varix および angioma 3 例，その他の腫瘍各1例であった．high resolution CT（axial, coronal）により腫瘍の局在部位を extraconal, interconal, intraconal extraneural, intraneural に分類し，臨床症状の発症様式と入院時所見，術後成績について検討し，また腫瘍の局在および進展様式と手術到達法についても考察を加える．

48）再発を繰り返した巨大眼窩 hemangiopericytoma の 1 手術例

鈴木 洋一・小林 紳一・長嶺 義秀・樋口 紘（岩手県立中央病院 脳神経センター 脳神経外科）

眼窩に原発する Hemangiopericytoma は稀であり，臨床経過が長く再発しやすいとされる．今回我々は，24年の経過で再発を繰り返した巨大眼窩 Hemangiopericytoma の1手術例を経験したので若干の文献的考察を加えて報告する．症例は75歳女性．昭和37年頃より左眼球突出に気付くも放置していた．その後，眼球突出のため失明し，58年12月某院眼科にて腫瘍摘出及び眼球摘出術を受けた．60年4月再び眼窩から腫瘍が突出し再手術施行するも，1年後に再発し腫瘍が巨大に成長したた